

健康で暮らせる行政を

市長、市議会議員が今年の抱負を語る

平成三年——。今年も、市の活性化に大きく貢献すると期待されている。県立歴史民俗資料館のオープン、高知カシオの建屋増築などが予定されています。また、商業活性化推進の建設など、大規模なプロジェクト推進の上でも大切な一年。

年頭に当たって小笠原市長と山本市議会議員は、「市政」についての抱負を語り合いました。司会：田岡信雄氏（敬称略）



小笠原市長

市長 南国市は医療機関が多く、医療には事欠きません。私は福祉行政とはその手前のごとく、病人、老人に手を差し伸べることであり、病気をなるべくしないように「ゲートボールや囲碁、将棋などで明るく日常生活をおくれるようにすることだと思えます。南国市はそういうところが遅れているので、医療の前段階の福祉行政を進めていかなければなりません。

市長 南国市の市民の皆さんは民主主義に対する認識が強く、なってきたと思います。個人の利益を追求するのではなく社会的な責任感を持たれていると、目に見えない点で感じますね。



司会 明けましておめでとうございませう。

平成三年は南国市にとって非常に大事な年だと思えます。そこで今日は市長、議長お二人の対談を行い、今年の抱負をうかがいたいと思えます。

市長 南国市政は大きな目で見ると、先へ先へ

議長 私も同様の意見であり、一日も早く市長の目指す市政の実現に向けて努力していきたいのですが、財政的な面で負担がある中で、特に支出面を慎重に見なければなりません。市長 財政は、税収の見直しと市民の皆さんの要望の両方を考えていかなければなりません。しかし、税収の急速な伸びは予想できないにもかかわらずプロジェクトは目白押しです。財政は相変わらず苦しいと言えませんが、

議長 今後は、グラウンドなどの諸施設の充実を図ってほしいと思えます。

議長 文化会館の建設も市民の皆さんは待ちかねていますがなかなか進んでいない状態です。議会としても早期実現のため努力していますが、まず、学校施設の整備を優先してきました。財政的に今すぐには無理というところで、建設までは各地区の公民館を利用していただきました。

ほ場整備は 基本的事業

司会 同和行政では平成三年度に法期限を迎えますが……

市長 今のところ新しい計画を取り入れなければ法期限に完了します。ただ、同和行政の中では中央突破しただけで、また、諸施設の整備も十分とは言えず、同和問題は施設の整備だけではむむものではありません。

司会 最近、農地のほ場整備の気運が高まってきているようですが……

議長 ほ場整備は全国的に見ても高知県が遅れ、県内でも南国市が遅れている状態です。この

教育施設の 充実を

司会 これからの教育行政をどのように考えられていますか。

市長 学校教育施設の充実を力をつけており、平成三年度で断案となっている木造校舎の改築を終了させる心構えで取り組ん

議長 同感ですね。

司会 南国市のためにお一人には健康に十分気をつけていただかなければなりません。最後に現在の健康の秘けつをお聞かせください。

市長 おいしい物を少し食べて適量な酒と十分な睡眠というところが、



山本市議会議員

福祉行政に 力を

市長 南国市は医療機関が多く、医療には事欠きません。私は福祉行政とはその手前のごとく、病人、老人に手を差し伸べることであり、病気をなるべくしないように「ゲートボールや囲碁、将棋などで明るく日常生活をおくれるようにすることだと思えます。南国市はそういうところが遅れているので、医療の前段階の福祉行政を進めていかなければなりません。

市長 南国市の市民の皆さんは民主主義に対する認識が強く、なってきたと思います。個人の利益を追求するのではなく社会的な責任感を持たれていると、目に見えない点で感じますね。

市長 南国市は人口の増える素地がまだできていません。しかし、1・2・3次産業のバランスがとれるように段々増えてきているので必ず人口は増えてきます。

司会 いろいろいかがでしょうか、南国市全体についてはどう思われますか。

市長 南国市の市民の皆さんは民主主義に対する認識が強く、なってきたと思います。個人の利益を追求するのではなく社会的な責任感を持たれていると、目に見えない点で感じますね。

廃棄物の 処理場にめぐ

司会 大きな課題である廃棄物の新処理場の計画は……

市長 焼却場は秋に試運転できるでしょう。し尿と廃棄物処理場の協力をお願いし、今年中にはめどをたてたいと思っています。

司会 昨年の国勢調査で南国市の人口が減少しましたが、これについての考えは……

市長 南国市は人口の増える素地がまだできていません。しかし、1・2・3次産業のバランスがとれるように段々増えてきているので必ず人口は増えてきます。

司会 いろいろいかがでしょうか、南国市全体についてはどう思われますか。

市長 南国市の市民の皆さんは民主主義に対する認識が強く、なってきたと思います。個人の利益を追求するのではなく社会的な責任感を持たれていると、目に見えない点で感じますね。

新広報委員長に田岡信雄氏

市民に親しまれる広報作りを

前委員長藤本茂樹氏が昨年六月に逝去してから欠員となっていた広報委員長に、十二月二十日、新たに広報委員長となった田岡信雄氏が就任しました。任期は前委員長の残任期間である今年三月三十一日までです。



田岡氏は、昭和二十七年に旧上倉村役場に入り、旧後免町役場を経て西国行政所へ勤務。議会事務局長、公害環境課長、補

佐藤などを歴任、昭和五十年から十二年間収入役を務めました。現在は農業のかたわら、民生児童委員としても活躍しています。六十七歳、白木谷。

田岡新広報委員長の話「広報は、市民が紙面を通して市政を知り、市政に参画する唯一の場です。広報委員会はその真理を探究し、市民に親しまれ、頼りにされる開かれた広報作りにはゆみない努力を払わなければなりません。こうした使命を肝に銘じ、私なりに微力を尽くしたいと思っておりますので、市民の皆さんのご理解と協力を願います。」

新春対談

司会 最初市長から福祉の話が……

市長 南国市は医療機関が多く、医療には事欠きません。私は福祉行政とはその手前のごとく、病人、老人に手を差し伸べることであり、病気をなるべくしないように「ゲートボールや囲碁、将棋などで明るく日常生活をおくれるようにすることだと思えます。南国市はそういうところが遅れているので、医療の前段階の福祉行政を進めていかなければなりません。

市長 南国市は人口の増える素地がまだできていません。しかし、1・2・3次産業のバランスがとれるように段々増えてきているので必ず人口は増えてきます。

司会 いろいろいかがでしょうか、南国市全体についてはどう思われますか。

市長 南国市の市民の皆さんは民主主義に対する認識が強く、なってきたと思います。個人の利益を追求するのではなく社会的な責任感を持たれていると、目に見えない点で感じますね。